

町政に女性の声を届けよう

7月14日から16日までの3日間、町内3会場で『女性の声を聴く101の会』を開催しました。女性の声を町政に反映させようと毎年開かれてきているこの会。はじめに町から新生活運動について意見を伺い、その後、女性の皆さんから意見や要望が出されました。主な内容を紹介します。【●＝女性の声 町＝町の回答（対応済のものは対応後の回答）】

◆共通テーマ

新生活運動について

鷹巣会場

- 新生活運動は推進してほしい。
- 公民館単位で実施すれば取り組みやすい。
- 町で金額等の目安を示したら実行しやすい。
- 1年に1項目ずつ実施していけば。
- 病気見舞いのお返しをしないと決めている公民館がある。
- 葛輪公民館では、冠婚葬祭等、交際費の取り決めを10年ぐらい前から実践している。
- お返しをもらう人が断ることができるようになれば、町民の意識が変わってくると思う。

指江会場

- 結婚式は身内だけで行い、お祝いを少なくする。
- 町民の意識改革ができなければ長続きしない。
- 付き合ひなどがあり難しいと思う。
- 小浜公民館では、婦人会で葬式、初盆などの金額の取り決めを実践している。
- 公民館の総会などで提案し、公民館単位で実施しては。
- 若い世代で1回リセットして取り組んでいっては。

獅子島会場

- 病気見舞いのお返しは、今までもらっているので返さないわけにはいかない。
- 町で推進してほしい。
- もらったら返すという意識が根強い。

◆その他の意見・要望

鷹巣会場

- 親がいるので若い人たちでは決めにくい。
- 誰がいつから止めるのか決まないと実施できない。
- 一人が守らないと、ズルズルと決定事項が自然消滅していく。
- 親がいるので若い人たちでは決めにくい。
- 誰がいつから止めるのか決まないと実施できない。
- 一人が守らないと、ズルズルと決定事項が自然消滅していく。

指江会場

- 役場の花壇の管理が悪い。
- 町翌日、各課作業を行った。
- 赤崎の県道沿いに花を植える擁壁があるが、草だらけで見苦しい。
- 7月13日から16日で除草作業を終了した。
- 数年で終わるような花いっぱい運動にならないようにしてほしい。

獅子島会場

- 救急救命士を採用する考えはないか。
- 町高規格救急車や4人の救命士が必要である。今後、消防の広域合併も計画されており、その動向を見極めながら前向きに努力する。救命士の採用は地元出身者を確保していきたい。
- 町内にAEDは何力所設置しているのか。

活発な意見が出された指江会場



- 町内、全ての小中学校に配置。指江と鷹巣の温泉センターにも設置してある。
- 道路沿い（山中）のツツジをボランティアで手入れしている。花が咲かないので、抜いてもらえないか。
- 7月21日、22日で剪定作業・草払いなどを実施した。
- 田尻の中学生は、部活をしていると最終バスに間に合わない。助成や交通対策援助をしてもらいたい。